

〈支援方針〉

「非認知能力」を高める

子どもたちが安心できる環境で
自己肯定感、人や社会と関わる力
生活習慣など、将来の自立に向けて
ストレスに負けない生き抜く力を
育む。

児童発達支援 ソシリッサ 支援プログラム

〈法人(事業所)理念〉

～Dare to be different～ あえて違う者になれ

人や社会と関わる力、生活習慣など、将来の自立
に向けて、家庭環境や発達の特性等様々な困難
に直面する子どもたちが「生きる力」を育み、安心
して過ごせる居場所を目指す。



〈営業時間〉

月曜日～金曜日
8:30～17:30

〈送迎の有無〉

あり

本人支援

〈健康・生活〉

「笑育」

子どもたちが笑顔で楽しく過ごせる場所となるように、子どもたちも笑ってスタッフみんなも笑って育てていきます。

たくさん遊び、たくさん食べ、たくさん笑って丈夫な身体を作ります。

元気な挨拶、身の回りの整理整頓など基本的な生活習慣を身につけます。

〈運動・感覚〉

「体幹・指先」

戸外活動を中心として、自然（景色、音、匂い）を感じながら畑遊び、お散歩、水・泥あそび等を行い五感を刺激しています。

雑巾がけをして体幹を鍛え、バランス感覚を養います。

指先を使う療育（細通し、プットイン、ねんどなど）を行い、脳の発達を促します。

〈言語・コミュニケーション〉

「絵本の読み聞かせ」

毎日2冊以上の絵本の読み聞かせをしています。発語、言語理解、感情、集中力等を促しています。

お友だちと共有（物の貸し借り、順番に使う）するためにどうしたら良いかを一緒に考え、安心して共有が出来るように、繰り返し行い身につけていきます。

〈認知・行動〉

「好奇心を育てる」

新しい発見や気づきを得て喜び感じられるように、子どもたちが興味をもったことはできるだけたくさんの体験が出来るようにしています。

お手伝いや片づけをして褒められる喜びを味わうことで、「自信」や「自主性」を育てています。



〈人間関係・社会性〉

「思いやりの心を育てる」

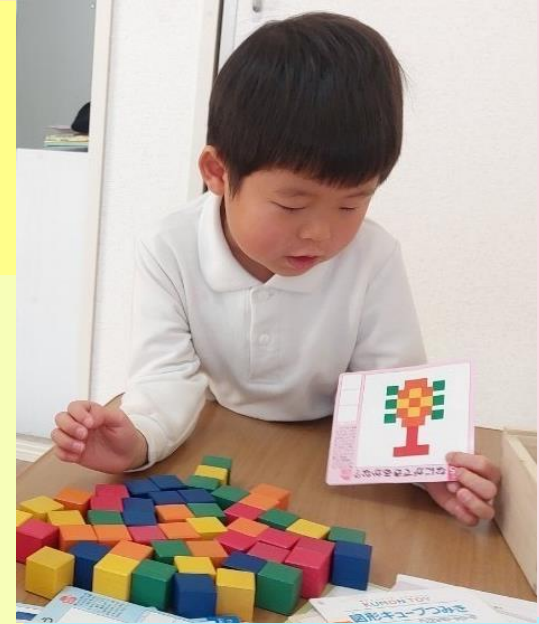
ポコアポコ（2.3歳児）の子どもたちと一緒に遊ぶ中で、手をつないであげたり助けてあげたりすることで自然と思いやりの心が育ちます。散歩のときに出会った草花、虫などに触れることで生き物すべてに命があることを知り、命の尊さを感じ成長を育みます。

〈家族支援〉

療育の様子等を連絡帳（保護者連絡ツール用アプリ「コドモン」の運用）や送迎時に伝え、定期的に面談を行い支援について共有しています。
本児が自分で考え、選択できるように一緒に具体的な方法を伝え、実践出来るようにしています。

〈移行支援〉

移行先（保育所や幼稚園、学校）へ活動の際のこどもとの関わりについてなど伝えてスムーズに移行できるよう連携をとっていきます。
高校卒業後の就労支援などの社会資源を活かして自立に向けて相談事業所とともにサポートを行います。



〈地域支援・地域連携〉

定期的または適宜に連携会議を開催し、情報収集・役割分担、具体的な場面でのこどもとの関わり方を話し合い、共有しています。

〈職員の質の向上〉

障害や幼児期の発達、障害児支援の技法や理論などについて定期的な職員研修や外部講師を招いたチームビルディングなどの研修を開催し、職員の支援スキル向上に繋げています。
自己研鑽ができるよう資格取得の機会を提供しています。

〈主な行事等〉

- 野外活動わくわく探検隊（自然をテーマとして連休や長期休暇などを利用し宿泊・キャンプイベントを実施）
- お誕生日会 ○避難訓練 ○夏祭り ○ハロウィン ○クリスマス ○おもちつき ○節分 ○ひなまつり ○震災を忘れない
- 社会体験（図書案利用、お買い物体験、リサイクル活動、お泊り会）